



未来への種まき ～自由研究が教えてくれること～

教頭 長崎 亨

2学期がスタートし、子供たちの元気な声が学校に戻ってきました。各教室には、子供たちの夏休み作品が展示されています。その中の一つ、自由研究では、子供らしい着眼点に驚いたり、試行錯誤して調べた努力の跡に感心したり、興味深く見入ってしまいます。

先日の「小学生新聞」に、自由研究に関するこんな記事が載っていました。



自由研究で救った命 ～AED地図活用～

東京都に住む小学4年生の林陽月さんとその家族に、消防署から感謝状が贈られました。そこには、こんな出来事があったそうです。自宅を訪ねてきた男性が突然倒れた際、陽月さんたち家族が協力して応急処置を行いました。その処置のおかげで、男性は病院に運ばれた後、無事に回復しました。

陽月さんの母親は、自宅から120m離れたマンションから迷わずAEDを取って来ることができました。突然の出来事にも関わらず、素早く対応できたのは、陽月さんが作った地図を思い出したから。陽月さんは、小学1年生の時、自由研究でAEDについて調べており、その時に作成した「AED地図」が役立ったとのこと。感謝状を受け取った陽月さんは、「助かったと聞いてすごくうれしかった。みんなが助けられるように地図を作ったので、今度は私もAEDを取りに行けるようになりたい。」と笑顔を見せました。

3年前の研究が役立ち、大切な命を救った話題に心が温かくなりました。自由研究で調べたことがこのように役立つこともあるのです。この出来事のように調べたことそのものが直接役に立つということは少ないかもしれませんが、しかし、自由研究には次のような効果もあるのではないかと考えています。

- ◆「分からないこと」「答えのないもの」など未知なるものに対して、自分の予想をもち、調べた経験が、好奇心をもって前向きに生きる力の基盤となる
- ◆「～じゃないかな」「…はどうかな」と、家族に親身になって研究の相談に乗ってもらった経験が、相手の気持ちを尊重する温かい心を育む



自由研究を通して得たかけがえのない経験が、未来への種となって子供たちの人生のどこかで芽吹くことを願っています。前向きな気持ちと温かい心をもった清流っ子たちの成長を今後も見守っていきたいと思います。

9月23日(金)～24日(土)には、魚津埋没林博物館で魚津市小・中学校科学展覧会が開催されます。ぜひ、ご家族でご覧になってください。そして、子供たちの「こんなこと知りたいな」「あれを調べてみたいな」という気持ちを育むきっかけとしてください。

通学路は安全かな？ ～8/18(木)通学路合同安全点検～

魚津警察署や魚津市交通センター、道路管理者等の協力のもと、通学路合同安全点検がありました。見通しの悪い道路や交通量の多い道路、柵のない用水等、確認した危険箇所については、子供たちへも伝えていきたいと思えます。ご家庭におかれましても、登下校の安全についてお子さんに言葉かけしていただくとともに、通学路の危険等、気になることがございましたら、学校へお知らせください。



体育館横の工事が進んでいます

9月1日配布の学校だよりでお知らせしたとおり、体育館横の敷地の整地工事が行われています。これまで生い茂っていた木々が伐採され、ずいぶんすっきりしてきました。整地工事後、どのような駐車場ができるかについては未定です。また、詳細が分かりましたらお知らせいたします。



【9/9現在の様子】

運動会に向けて ～行事を支える高学年～

9月17日(土)の運動会に向けて、準備や練習が始まっています。6年生や応援団の5年生は、夏休み中から登校し、運動会をすばらしいものにするために準備をがんばっています。全校児童の前に立って行事を盛り上げる役割、縁の下の力持ちとなって行事を支える役割等、子供たちは一人一人の持ち味を生かして学校行事を支えています。



入賞リボン等、運動会の物品を作成する子供たち



応援合戦の内容について相談する応援団



迫力ある絵を描くマスコット係